

はしがき

社会保険労務士（以下、社労士）試験は、合格率3～5%（以前は7～9%でしたが、平成27年度が2.6%、平成28年度が4.4%となりましたので、本書では今後この傾向が続くものと考えて、3～5%で統一させていただきます）の超難関国家資格です。

専門学校の講座は、入門講座→本論講座→答練講座の一連の流れで構成されていて、すべて受講すると1年程度かかります。受講者数を見ると、本論講座、答練講座に比べて、入門講座は圧倒的に少ないのが現状です。

入門講座受講の必要性は、誰しもが認識しています。あえて理由を挙げれば、以下のとおりです。

「本論講座、答練講座では、合格に直結する細部の学習を行うので、全体像が見えにくい。入門講座で、社労士試験の全体構造、法律相互の関係といった概略をつかんでおかないと、『木を見て森を見ず』の状態に陥ってしまい、あるレベル以上実力が伸びない」。

大学時代法学部だった方も、やはり入門講座を受講したほうがよいのです。大学時代は六法中心の学習であったはずですが、社労士試験に出題される法律は、一般の六法には載ってすらいらないマニアックなものが多いからです。社労士試験出題対象法令の基礎を入門講座で学ぶ必要があります。

誰しもが、**入門講座受講の必要性**を認識しているにもかかわらず受講者数が少ない理由は、**受講料**にあります。各専門学校によってバラツキはありますが、安くても数万円程度かかってしまいます。本論講座、答練講座に何十万円単位のお金を払うので、節約できる部分は節約しようとの意識が働くのです。

そこで、本書を企画しました。**本書1冊で、数万円の受講料を払っ**

て筆者の入門講座を受講したのと、まったく同じ効果が得られます。

もう専門学校に高い受講料を支払う必要はありません。本書で社労士試験の概略や出題法令の基礎を学び、スムーズに本論講座へとつなげていってください。あなたの合格の可能性がぐっと増すことをお約束します。

2016年12月

筆 者

入門講座の目的

ではこれから、社労士試験入門講座第1回目の講義を始めます。今後あなたは、この入門講座、そして本論講座、答練講座と順次受講していくわけですが、最初に、この入門講座の趣旨、位置づけをご説明します。

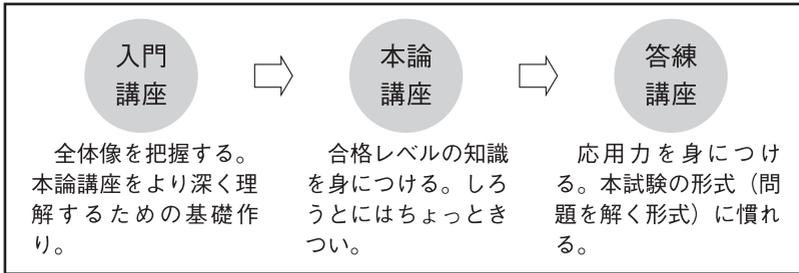
この講座の目的は、社労士試験の全体構造を把握し、本論講座をより深く理解できる能力を身につけることです。本論講座への橋渡しの役割とお考えいただけるとよいでしょう。したがって、この講座の趣旨を知るには、先に本論講座の趣旨を知る必要があります。

本論講座は、半年間に渡る長期の講座です。科目ごとに徹底した講義が行われ、試験合格に必要な情報のすべてを得ることができます。

しかし、本論講座は、すべての人がすぐにその価値を実感できる講座とは言えない部分があります。なぜなら、本論講座は試験に直結する講座なので、その内容はかなり細かいものになってしまうからです。最初から合格レベルで講義を進めていきますので、初心者の方にはちょっと荷が重いのです。必死に食らいついて勉強したとしても、細かい事項のみが身について、全体像が把握できなくなります。いわゆる「木を見て森を見ず」の状態ですので、あるレベルから実力が伸びなくなります。「あるレベル」では合格できないことは、言うまでもありません。

そこで、入門講座の果たす役割が大きくなります。入門講座では、細かい「木」の部分には触れずに、「森」を見渡す講義をします。社労士試験の出題範囲の全体構造や、法律相互の関係などを学習していきます。入門講座で「森」を広く知り、本論講座で1本1本の「木」を細かく見ていけば、あなたの実力は飛躍的な向上を遂げることでしょう。

講座の趣旨



入門講座の聞き方

理解しよう、暗記はダメ

入門講座の性質が明らかになりましたね。講義には、その講義の性質に合わせた聞き方というのがあります。入門講座の聞き方をお話ししましょう。

入門講座の目的は、全体像を理解することであって、細かい事項を丸暗記することではありません。したがって、講義を聞いて理解することを第一義的に考えるべきです。極端な話、何も覚えなくてもよいですから、理解することに集中してください。

何も覚えなくても良いことには、もう一つ理由があります。それは、今覚えなくても、試験まで延々と勉強を続けていけば（反復学習）、ほとんどの部分を嫌でも自然に覚えてしまうからです。自然に覚えれば済むことを、早い段階で丸暗記することには、次のような弊害があります。

- ① 誤った情報を丸暗記してしまう可能性がある。一度インプットされた情報を後で修正するのは、想像以上に大変である。
- ② 丸暗記は苦痛を伴う。早い時期から辛い勉強をすると、勉強自体が長続きしない。自然に覚えてしまえば楽である。